学校医会ニュース

校医

第333号　平成18年4月1日
発行所　京都市学校医会
京都市中京区間之町通竹屋町下ル
楠町601－1 こどもみらい館 2階
ＴＥＬ（075）256-0351
ＦＡＸ（075）241-3568
発行人　長村吉朗

学校医会総会にあたって

会長　長村吉朗

まずはじめに、皆様方がこの一年間京都市学校医会に対し温かいご支援とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。特に今回をもちまして学校医を勇退されることとなりました福田副議長先生には、私が学校医となりました時点で既に学校医として大先輩であり、又その取り組みも日本医師会まで知られており日本学校保健会の各種委員もおつとめの程で、私のような浅学非才ものに取りまして大きな刺激と教えをいただき誠に有り難うございました。それと共に昨年9月にお亡くなりになりました羽場前会長にも温かいご指導を頂いたことを感謝申し上げます。昨年は大久保前副会長をはじめ多くの先生方の勇退を迎えつらい気持ちでしたが、本年は福田先生、羽場先生を学校医会から失い、文字通り両腕をもぎ取られた感があります。

さて学校医会のこの一年ですが、昨年の総会で新しい理事の補充を申し上げましたが、昨年5月より山科の蘆原先生、本年4月より左京の福持先生に常任理事となっていただきました。未だ若い両先生には、今後学校医会に新しい活力と熱意をもたらしていただけるものと期待しております。又同時に前回総会に於いて遅ればせながらインターネットによる情報発信を申し上げましたが、中野常任理事のご努力により本年2月より府医サーバーに学校医会のホームページ（http://www.gakkoikai.kyoto.med.or.jp/）を開き校医ニュースを公開することといたしました。これまで以上に多くの方の目に触れますことを希望しますと共に、学校保健に関わる方に対する情報源として少しでも役に立てば良いなと思っております。会員各位におかれましては、一度学校医会のホームページを開いてみていただき、その感想やご意見をいただければ有り難いと思っております。

次に、遂に京都府医師会指定学校医制度の実施が行われました。大阪府、奈良県に続き三番目とはなってしまいましたが、福田先生のご努力でこれらの両府県の制度より更に良い制度となっていると確信しております。これに対しご意見は色々あろうかとは存じますが、校医ニュース等での説明の他に、支部会におきましても説明を行い大部分の先生方にはご理解を頂いたものと思っております。

さてこれからの方針についてですが、まず始めに京都府医師会指定学校医制度の順調な運営です。その為これまでから行われております講演会の他に、学校医として必要な知識に関する各種講演会や研修会の主催並びに後援をこれまでよりより積極的にして行きたいと考えております。会員各位におかれましては、ふさわしい企画や希望がございましたらお知らせいただきますようお願い申し上げます。又研究会や学会等でそれに該当するとお考えの場合、事後でもかまいませんから研修単位として認められる指定研修会に指定するつもりをいたしておりますので遠慮無くご連絡下さい。又昨年度は京都府医師会指定学校医制度の説明のため多くの支部に於いて支部会が開催されましたが、研修単位としてカウントされます本年度以降もより多くの支部会を開催していただき、役員も支部会には出席し会員の意見を聴き、会の運営に役立てていきたいと考えております。

次に、学校医にとって最大と言っても良い課題となってきている心の問題です。これまでも精神衛生研究班の研修は毎月長年にわたり行われてきましたが、学校現場に対しその成果をなかなか還元できませんでした。まじめに取り組めば取り組むほどその内容は多岐にわたり、一朝一夕に相談事業を行うことができなかったものと思われます。しかしながら今回、平井副会長が軸となって心の問題の相談事業を行っていくこととなりました。対象やその規模、日程、担当医師等未だ未定ではありますが学校医会にとりまして重要な活動と考えておりますので、同様の事業をすでに行っている関係機関等との役割分担や協議を行い積極的に取り組んでいきたいと考えております。興味をお持ちの先生方のご連絡および参加を期待しております。又来年９月22日に計画されております京都市学校医会創立100周年記念事業も、本格的にスタートをしたいと考えておりますので皆様方のご協力の程宜しくお願い申し上げます。

学校医に課せられた職務が急速に変わっていく中で、私ども京都市学校医会はその助けをしていかなければならないと考えておりますのでご要望などございましたらご連絡いただきますようお願い申し上げます。あと１年で創立100周年を迎えることとなる京都市学校医会を次の100年に導くために、今後とも努力していくつもりをしておりますのでよろしくご支援お願い申し上げます。

例年とはちがう新任校医研修会

副会長　奥　村　正　治

本年も、この４月より新しく校医になられる先生方の「新任校医研修会」が、平成18年３月30日（木）に事務所のある、こどもみらい館にて開催された。

18年４月より、京都府医師会指定学校医制度が発足する。その制度の資格の項目に、「新任校医研修１単位を履修し」となっている。この研修１単位が、本日の研修会である。

府下の先生方は、府医がもうすでに研修会を行なっており、市内の先生方を対象に開催され、内科校医15名、耳鼻咽喉科９名、眼科２名それ以外に府医の研修会に御都合の悪かった府下の先生３名を加えて29名の先生方に研修を行なっていただきました。どの校医さんにも共通の課題は全員で、その後は各パートに分かれ、それぞれの特徴を科目別で研修していただき、例年の研修よりも長時間にわたりました。

研修のテーマは、

① 京都市学校医会の組織とその内容について
② 学校医の職務に関する法律的側面
③ 学校医の職務の内容について
④ 指定学校医など
⑤ その他の学校医の職務　眼科、耳鼻科校医について
⑥ その他の補足説明

以上の内容で進められました。

質問も例年になく数多くみられ、新校医さんとは言え、今まで病院や、御開業でご経験を十分につまれた先生方のお顔もあり、18年度の校医の職務はスムースに運こばれると確信を得ました。

蛇足になりますが、もうすでに校医の先生方は「2006年３月末時点で学校医である医師は、新任学校医研修の履修を必要としない。」となっております。

創立１００周年記念準備委員会便り（Ⅱ）

創立100周年記念事業委員長　酒　井　　晃

準備委員会は式典・祝宴委員会と記念誌委員会に分れて定期的に開かれ着実に成果があがっています。

①　式典・祝宴委員会

開催日時は既報の通り **平成19年９月22日（土）** 場所については二部構成となります。式典は格調高く相応しい会場が内定いたしましたが正式発表は今少しお待ち下さい。

記念講演と祝宴は京都ホテルオークラに決定いたしました。

先ず記念講演の講師につきましては絞り込みも進み、目下最終段階の交渉中です。決定すれば、あっと驚く何とやら、次報ではお知らせできるでしょう。

祝宴は賑々しい中にもハートフルなものにすべく委員一同、頭をひねって考慮中です。
当日は多数の先生方のご参加を期待しています。

②　記念誌委員会

既に70周年、90周年に立派な記念誌が刊行されています。これらの内容を十分に参考にし重複はなるだけ避けるように作成することを心掛けています。明治、大正、昭和（戦前まで）の３代に亘っての貴重な資料の中から、府立医大の八木聖弥先生、眼科医会の奥沢康正先生のご執筆による力作が完成しました。先人の足跡が今、よみがえります。更に先年実施しましたアレルギー疾患のアンケートを下に京大小児科との協同研究による学術論文が発表されます。その他、年表や各研究班活動状況などとなりますが、今後の焦点は会員先生方、ＯＢ先生方の原稿です。過日・ご依頼いたしましたがまだ少ないようです。学校医経験談、ご提言、ご助言、学術論文等、ご協力を重ねてお願いいたします。更に、90周年以降の歩みを中心にした企画の中で、歴史の証言の立場からご意見をお聞かせいただきたい先生方には後日、再度お願いをいたしますので趣旨ご理解の上、是非ご協力下さいましようお願いいたします。

遠い話と思っていましたがあと１年余となりました。心を引き締めて取組む所存です。

最後になりましたが、全面的にバックアップいただいている京都市教育委員会に敬意を表します。